

入試年度	2025	入試方式	一般（秋季）	課程	博士前期
研究科	文学	専攻	史学	領域（分野）	東洋史学
出題のねらい					
<p>I 課題文は中国中世に記された家訓書で、出題箇所は当時の人物の逸話部分。大筋の内容的は平易であり、癖のない文章のため、細部はともかく大意はきちんと把握したいところ。書名も当時を代表する作品であるため、常識としては知っていてほしい。</p> <p>II 課題文は中国近世後期の史書風随筆。きちんとした史書ではないが、歴史的内容を持っている。清代の弁髪に関する話で、その普及のさまを記している。よく知られた内容であるため、前提知識も使えば読解は難しくないと考える。</p> <p>III 語群から3つの用語を選択して説明するという問題。中国前近代・中国近現代・西アジアの用語から選択するもの。どれも基本的な用語であるため、ある程度の説明はできるはず。基礎的な知識の有無を確認する問題である。</p>					
解答・解答例または採点時の評価ポイント					
<p>I 課題文の大意がきちんと捉えられ、日本語の文章として表現されているか。あわせて基礎的な歴史的知識があるかどうかポイント。</p> <p>II 課題文の意味が正しく理解できているか。歴史上の用語も含めてきちんと訳出できているかがポイント。</p> <p>III 基本的な歴史用語について、研究において必要な最低限の知識があるかどうかを、きちんとした日本語で書けているかがポイント。</p>					